

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
招 集 期 日	平 成 2 8 年 4 月 2 1 日 (木)		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	4 月 2 1 日 午 後 4 時 0 0 分		
閉 会	4 月 2 1 日 午 後 5 時 3 0 分		
教 育 長	戸ヶ崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況	戸ヶ崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	吉 田 辰 行	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
説 明 員	中川教育部長、鈴木次長、熊谷副参事、栗津教育総務課長、		
	星野学務課長、教育政策室 渡部担当課長、教育政策室 山根担当課長、		
	細井学校給食課長、津田生涯学習課長、教育総務課 諏訪村主幹		
書 記	教育総務課総務担当 山本主任		
傍 聴 人	3 人		

会議の経過及び結果

教育長

平成28年度最初の定例教育委員会となりますが、今年度もよろしく
お願いいたします。市内すべての学校も順調に新学期が始まりました。

昨年12月のこの席上で、また、先程の常任委員会との懇親会でも申
上げましたが、2045年問題と言われる、AIが人類を越える「シ
ンギュラリティ」に向けての教育改革は、平成30年度からの国の第3
期教育振興基本計画でも議論が始まると聞いております。私もその中に
委員の一人として加えていただく予定です。

数年前に、米グーグル社は「ディープラーニング（深層学習）」と呼ば
れる、新たな手法で、ネコを認識する人工知能（AI）を開発しまし
たが、これは、同じグーグルが開発する話題の自動運転技術よりも凄いニ
ュースなのだそうです。

本市教育委員会では、そのグーグル社から最先端のICT環境につい
ての支援を受けることになっていきますし、AIの研究でも有名な国立情
報学研究所の新井紀子教授ともReading Skillsの共同研究も始めたところ
です。このことは3月30日付けの日経新聞に大きく掲載されました。

また、「21世紀型スキル」、「汎用的スキル」、「非認知スキル」を身に
つけるためには、本市の実態に鑑み、どのような手立てを講ずるべきか、
新設した教育政策担当を中心に考え始めています。

昨年末の日本の調査では、教師という職業は生き残れることになって
いますが、攻めの姿勢をもたない限り、前途は暗澹としていると私は思
っています。本市でも今年度タブレットPCと無線LAN環境を全校整
備しますが、今後のICT機器には多くの学びのツールが組み込まれる
のは間違いないと思います。タブレットを使いこなすスキルはすでに子
供たちの方が上という場面も生じていますし、益々教師の役割が問われ
てくるかもしれません。

機械にはできない教師の力は何かと考えると、それは子供と向き合い、

	<p>心情や感性に訴える力だと思います。教師は専門的な知見はもちろん、教育に対する情熱と愛情を伴って生徒にモチベーションをつけることができる。これこそが、教師にとって究極の役割であると考えています。教師と教え子の関係はこうでありたいと願う寺田寅彦の一句を紹介します。「先生と話して居れば小春かな」</p>
教育長	<p>それでは、ただ今から、平成28年第5回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>初めに、前回臨時会、前々回定例会の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
各委員	了承
教育長	それでは、会議録に御署名をお願いします。
各委員	署名
教育長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。本日の「報告事項② 平成27年度第2回戸田市海外留学奨学生について」、「議案第16号 平成28年度戸田市就学支援委員会委員の委嘱について」、「議案第17号 戸田市教育委員会事務局職員の人事異動（案）について」は、個人情報及び人事案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p>
各委員	異議なし
教育長	それでは「報告事項②、議案第16号及び議案第17号」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教育長	<p>はじめに、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして17件の報告がございます。</p> <p>① 第3次戸田市教育振興計画実施計画について</p> <p>② 平成27年度第2回戸田市海外留学奨学生について</p>

	<p>③ 平成27年度入学準備金貸付内訳について</p> <p>④ 平成28年度第1回奨学資金貸付内訳（新規分）について</p> <p>⑤ 戸田市立小学校卒業児童の私立中学校等への進学者数について</p> <p>⑥ 平成28年度児童生徒数及び学級数について</p> <p>⑦ 戸田市立小・中学校通学区域審議会5号委員の退職に伴う委員の変更について</p> <p>⑧ 教育政策担当の取組について</p> <p>⑨ 埼玉県学力・学習状況調査の分析と活用について</p> <p>⑩ 新しい学びの創造について</p> <p>⑪ 「平成28年度 指導の重点・主な施策」について</p> <p>⑫ 生徒指導の推進について</p> <p>⑬ 「平成28年度 小・中学校運動会・体育祭 実施日等一覧」について</p> <p>⑭ 平成28年度南部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問の予定について</p> <p>⑮ 戸田市民大学認定講座について</p> <p>⑯ 市史編さん事業の継続（最終年度）について</p> <p>⑰ その他</p> <p>詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
事務局	<p>①第3次戸田市教育振興計画実施計画について報告します。</p> <p>この実施計画につきましては、今般策定いたしました平成28年度から平成32年度までの5年間を計画期間とする、第3次戸田市教育振興計画の推進のため作成し、毎年度の点検・評価・改善を行うものでございます。</p> <p>第3次戸田市教育振興計画に定めた目標指標における各年度の計画値、目標を達成するに当たっての課題・取組について記載しております。</p>

	<p>この目標を達成するために各年度計画値を定め、各種事業を実施してまいります。</p> <p>この実施計画のもと、毎年度、実施計画の実績・改善点・今後の計画の検討を行い、それを次年度の予算編成や事業計画に反映してまいります。</p>
事務局	<p>③平成27年度入学準備金貸付内訳について報告します。</p> <p>入学準備金貸付につきましては、昨年10月から2月末まで募集を行ったところ、42人の申請がありました。</p> <p>そこで、昨年度5回開催いたしました、入学準備金受給者選考委員会におきまして、申請に基づく選考の結果、42人全員の貸付が決定されたところでございます。しかし、貸付決定者のうち、入学準備金が不要となった3人の辞退があり、その者を除く39人に貸付を行いました。</p> <p>なお、平成26年度の入学準備金貸付申請は40人で、辞退者4人を除く36人に貸付を行いました。</p>
事務局	<p>④平成28年度第1回奨学資金貸付内訳（新規分）について報告します。</p> <p>奨学資金貸付につきましては、年に2回、3月と9月にそれぞれ4月からの奨学生、10月からの奨学生を募集しております。今回、平成28年度第1回として3月17日から31日まで募集を行ったところ、36人の申請があり、全員の貸付が決定いたしました。奨学資金は4月からの貸付となります。</p> <p>なお、昨年度第1回の奨学資金貸付申請・決定は、37人となっております。</p> <p>また、参考までに、近年の申請状況をみますと、平成20年度に半額返済から全額返済に制度変更したことにより、申請者が減少いたしました。21年には増加いたしました。22年度から、高等学校の授業料無償化（現在は高等学校等就学支援金制度）が始まり、減少傾向となっ</p>

	ております。
事務局	<p>⑤戸田市立小学校卒業児童の私立中学校等への進学者数について報告します。</p> <p>今年の3月の小学校の卒業生は、計1,212名でした。そのうち、122名が、戸田市立以外の中学校に入学・進学しました。私立の進学率10.07%で昨年度の10.63%から約0.5%強下がりました。</p>
事務局	<p>⑥平成28年度児童生徒数及び学級数について報告します。</p> <p>埼玉県では、4月6日が学級編製の基準日になります。</p> <p>つきましては、今年度の市内小・中学校の学級数と人数が資料のとおり確定いたしました。昨年度との比較では、小学校で8学級増、中学校で1学級減となりました。</p>
事務局	<p>⑦戸田市立小・中学校通学区域審議会5号委員の退職に伴う委員の変更について報告します。</p> <p>これまで5号委員として充て職で委嘱しておりました前都市整備部長及び前市民生活部長の退職に伴い、現都市整備部長及び現市民生活部長に委員が変更になりましたので、報告いたします。</p>
事務局	<p>⑧教育政策担当の取組について報告します。</p> <p>教育政策担当は、「第3次戸田市教育振興計画」や「戸田市の教育振興に関する大綱」に基づき、教育施策の企画・立案や産官学民連携教育の推進等を担当いたします。</p> <p>今後、本市教育の発展に全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、「政策担当の取組について」は、資料8ページを御覧ください。最上段、教育振興計画のキャッチフレーズを置かせていただきましたが、左下に「とだっ子に身につけさせたい能力」として、「21世紀型スキル」</p>

「汎用的スキル」「非認知スキル」の3つを掲げております。

その上段には、これらの能力を育てていくための3つの取組の柱として、「新しい学びの創造」「指導力のある教職員の育成」「新たな教育行政への転換」と整理させていただきました。

「新しい学びの創造」については、皆様も御承知のとおり、21世紀を生きる子供たちには、「何を知っているか、何ができるか」（個別の知識・技能）だけではなく、「知っていること、できることをどう使うか」（思考力・判断力・表現力等）、「どのように社会や世界と関わり、より良い人生を送るか」（学びに向かう力、人間性等）といった資質・能力を、様々な教育活動を通して育てていくことが必要です。そのためには、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び、いわゆる「アクティブ・ラーニング」を推進することが有効と考えております。

「指導力のある教職員の育成」については、近年、教員として求められる不易の資質能力としての専門的知識や教育的愛情等に加え、キャリアステージに応じて資質能力を高める自律性、情報を収集・選択・活用する能力や深く知識を構造化する力、学校を取り巻く新たな教育課題に対応できる資質能力なども求められており、高度専門職業人とも呼ばれるこれらの資質能力を備えた「信頼され魅力ある教員」として、教員自身がパッシブラーナーからアクティブラーナーとなるよう、産官学民と積極的に連携し、様々な先進的研修プログラムや、学力向上に向けた効果的な指導方法の研究を行ってまいります。

「新たな教育行政への転換」については、エビデンスベースと言われる客観的な根拠に基づく政策の実施が今後の教育行政においても重要であり、的確な実態分析と効果の検証を行います。また、学校への適切な支援や指導助言ができる教育委員会事務局を確立するため、組織の活性化や事務局職員の資質能力の向上など、攻めの教育行政の実現に向け、まずは教育委員会事務局が学び続けることが求められていると考えております。

	<p>最後に、取組を進めていくに当たっては、戸田市の力だけではなく、産官学民との連携を積極的に進めていきたいと考えております</p>
<p>事務局</p>	<p>⑨埼玉県学力・学習状況調査の分析と活用について報告します。</p> <p>先週の14日（木）に県学力・学習状況調査が実施されました。調査内容は、小学校は4，5，6年生の国語、算数、中学校は1年生が国語、数学、2，3年生は国語、数学、英語でございます。併せて児童生徒の学習状況を把握する質問紙調査が行われました。</p> <p>本調査の特長といたしまして、児童生徒一人ひとりの学力の変化を、継続的に把握することができるということがございます。いよいよ今年度の調査から、昨年度の調査結果と比較した分析が行われることとなります。</p> <p>一方で、指導法の改善に活かすという面では、質問紙調査が学校単位で行われることから、個々の教員の指導方法と児童生徒の学力との関係については、把握することができないという課題があります。</p> <p>そこで、この度、県教育委員会から、本市に全教員を対象とする指導方法に関する質問紙調査と、指導した児童生徒の学力調査結果との関係関係について分析するための依頼があり、協力することといたしました。現在、各学校では、この質問紙調査を実施しているところでございます。</p> <p>なお、本調査は、個々の教員の指導方法を調査するものでございますが、効果的な指導方法を明らかにするために使用するものであり、個々の教員の評価に用いることはございません。</p>
<p>事務局</p>	<p>⑩新しい学びの創造について報告します。</p> <p>先程、教育政策担当課長からもありましたとおり、確かな学力の向上はもちろん、21世紀型スキルや汎用的スキル、非認知スキルなど、とだっ子の未来を生きる資質や能力の育成をすすめていきたいと考えております。</p>

そこで、次期学習指導要領改訂の目玉ともなります、「アクティブ・ラーニング」について、他市に先駆け、推進していきます。具体的な取組としては、文部科学省の委託事業として「課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びの推進事業」「総合的な教師力向上のための調査研究事業（民間教育事業者の力を活用した教員の資質能力向上事業）」の2つを受け、全市をあげてすすめてまいります。

また、昨年度、研究推進をしてきた協調学習についても、センター研究員の実践を通して、さらに研究を進めてまいります。そのために、資料11ページの「協調学習推進プラン」を設定し、東京大学の研究機関（通称 CoREF）と連携し、取り組んでいきます。

資料12ページを御覧ください。これは、アクティブ・ラーニングを促す要素を分類した表です。分類としては、「A 学習環境」「B 授業展開」「C 指導上の工夫、言語活動の充実」の3つがアクティブ・ラーニングを促す要素として考えております。その中でも赤丸で囲んだ「a」については、教育効果の高い取組として、お茶の水女子大学の研究で示されております。アクティブ・ラーニングを促す要素を取り入れる際に有効と考えております。

続きまして、資料13ページを御覧ください。これは、戸二小の研究をベースとして、「インパクト・コンパクト」な導入、「対話によるファシリテート」や「学び合う場の設定」を行う展開、「教えたいことほど教えない」そして「未来へのベクトルとなる学習の振り返り」を行う終末までのアクティブ・ラーニングの授業スタイルを戸田モデルとし、その要素を示しました。

また、資料14ページでは、児童生徒の気付き、発見など、体験や実験などの活動を通して得たものから始まる協調学習をすすめる上で、児童生徒の思考を整理・分類するために思考ツールを示したものです。この思考ツールを活用することで協調学習を推進していくものです。

資料15ページは、今年1月の教育フェスティバルで御講演をいただ

	<p>きました田村視学官の本から引用し作成したもので、視学官にも御指導いただきました。エキスパート活動に入る前に、課題をどのように設定していくのが肝心で、課題の設定を大切にすることにより、児童生徒の能動的な学びがより一層進むものと考えております。</p> <p>これらの資料につきましては、先日の校長会議で示し、学校訪問等の準備をはじめ、日頃の授業づくりで活用いただくよう伝えました。今後、戸田市における新しい学びづくりを一層推進してまいります。</p>
事務局	<p>⑪「平成28年度 指導の重点・主な施策」について報告します。</p> <p>教育政策室では、第3次戸田市教育振興計画に基づき、基本目標Ⅰ「やり抜く力を育む教育を推進する～確かな学力と生徒指導の充実を図る～」、基本目標Ⅱ「よりよい教育環境を整備する～産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る～」を挙げ、事業をすすめてまいります。</p> <p>2ページ～4ページは、今年度の教育政策室における事業の詳細です。</p> <p>5ページ～8ページは、先程申し上げましたアクティブ・ラーニングの推進のための資料となります。</p> <p>9ページは、昨年度まで大切にしてきた授業のユニバーサルデザイン化5つのチェックポイント及び授業評価10のチェックポイントを示し、指導の重点となるものを表しました。</p> <p>10ページ～11ページは戸田市教職員専門研修一覧です。これらの事業や研修を通して教師力、学校力を高めていきたいと考えております。</p>
事務局	<p>⑫生徒指導の推進について報告します。</p> <p>昨年度に引き続き、市内児童生徒の健全育成を図るための生徒指導アクションプランです。資料中央にある生徒指導支援センターを中心に、市教育委員会、関係各課、関係機関が互いに連携を図りながら、学校への支援やいじめ非行防止活動等を行い、生徒指導の充実を図ってまいります。</p>

事務局	<p>⑬「平成28年度 小・中学校運動会・体育祭 実施日等一覧」について報告します。</p> <p>各小・中学校の運動会・体育祭の実施日につきましては、資料のとおりです。</p>
事務局	<p>⑭平成28年度南部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問の予定について報告します。</p> <p>学校訪問の日程につきましては、資料のとおりです。</p> <p>なお、今年度より、教育委員訪問をすべての学校を対象とすることとしましたので、学校訪問を希望される場合は、2週間前までに御連絡をお願いいたします。</p>
事務局	<p>⑮戸田市民大学認定講座について報告します。</p> <p>昨年度の戸田市民大学認定講座につきましては、庁内全体で取り組んでおり、認定講座の実施部署は8課所で、講座数は計42講座を実施いたしました。</p> <p>全参加者数は、3,702人、単位認定者は延べ1,587人、単位認定者実質人数は678人でした。詳細につきましては、資料を御覧ください。</p> <p>次に、平成28年度市民大学カリキュラム予定表を御覧ください。今年度は、新たに上下水道経営課が加わり、9課所にて40講座を実施予定です。</p> <p>また、今年度の市民大学開講式を5月21日（土）に実施します。開講式は、当課が主催する「青山学院大学連携講座」第1回目講義の開始前に実施いたします。</p>
事務局	<p>⑯市史編さん事業の継続（最終年度）について報告します。</p> <p>現在、平成26年度から3年間をかけ、戸田市史の続編を作成中です。</p>

	<p>10月1日の市制50周年記念式典までに仕上げるため、鋭意執筆中です。最終的には、およそ400ページ、原稿用紙にして970枚分になる見込みです。今後、会議を開催し、最終的な編さんを進めてまいります。</p>
教育長	<p>次に⑰ その他ですが、事務局より何かございますか。</p>
事務局	<p>教育政策室から岸澤武雄氏作品鑑賞会について報告します。</p> <p>市政50周年記念として岸澤武雄氏の作品展が10月28日から文化会館で行われます。岸澤武雄氏は、戸田市ゆかりの作家で、市役所には市役所前庭の「平和像」、市役所2階ロビーの「まるい虹」という作品が飾られています。その岸澤武雄氏の企画展にて市内児童生徒を対象とした鑑賞会を計画しております。</p> <p>鑑賞会で児童生徒のファシリテーターをつとめるのは、教育政策室で図工・美術を担当しております田中指導主事で、田中指導主事は県立近代美術館において教育普及担当課長の実績もあります。戸田市ゆかりの作家の作品とふれあう機会を活かし、その魅力を児童生徒にファシリテートしていく機会をつくろうと考えております。</p> <p>図書館・郷土博物館から名作映画鑑賞会についてお知らせします。</p> <p>4月23日（土）に図書館視聴覚室で「禁じられた遊び」を上演します。この名作映画鑑賞会は、昨年11月に第1回を実施し、大変好評だったものです。</p>
教育長	<p>以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
委員	<p>報告事項①別冊資料3ページ、確かな学力の育成の目標指標に全国学力・学習状況調査の正答率について掲げていますが、国語、算数・数学だけでなく、3年に1度実施される理科を加えたらいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>現在のところ、理科は3年に1度実施されていますが、次回も必ず3年後に実施されるか確かではないのと、3年に1度の実施であるとのこの</p>

	5年間の実施計画では経年比較ができないため、ここでは掲げておりません。
委員	報告事項③で、貸付辞退者が3人いるとのことでしたが、なぜですか。
事務局	公立高校に合格したため、入学準備金が不要になった方が2人で、もう1人が残念ながら大学不合格のため辞退したとのことでした。
委員	報告事項⑤で、昨年度と比較して私立中学校等への進学率が下がったとのことですが、中学校学校選択制と何か関係あるのでしょうか。
事務局	ここ5年間、年々下がってきています。その要因の一つとして、中学校の生徒指導が落ち着いてきているためと考えますが、学校選択制との相関関係はわかりません。戸田市全体としては下がってきていますが、学校ごとに見ると逆に上昇している学校もあります。何が要因なのかは現状ではつかめておりません。
教育長	教育委員会としては、可能な限りその要因を分析しつつ、私立中学校等への進学率を減らす努力をしていきたいと思っております。
委員	報告事項⑥について、戸一小が今年度30学級となりましたが、教頭の加配はなかったのですか。
事務局	県教委に相談しているところですが、予算の都合上、必ずしも基準を超えれば加配されるわけではないとのことでした。
委員	資料を見ると、美笹中は全校で290人ということで、魅力ある学校にするために教育委員会としてどのような支援を考えていますか。
事務局	大きな学校と同様、2名程度教員を加配しております。また、昨年度、秋から土曜日に地域の学習塾と連携したジャンプアッププランを実施いたしました。3年生の生徒の約半数が参加して進学率もよかったとのことでした。これを受け、ジャンプアッププランは今年度より全校で実施してまいります。また、人事配置や研究委嘱等でも配慮しております。
委員	報告事項⑧について、コンパクトにわかりやすくまとまっていると思

	います。
委員	資料 8 ページの Teach For Japan からは戸田市に何名配置されたのですか。
事務局	笹目東小学校に 1 名、戸田東中学校に 1 名の計 2 名です。
委員	この方々に期待するものは何ですか。
事務局	教員としては全く経験がないので、すぐに素晴らしい授業ができるというわけではないのですが、素晴らしい教員になれる資質を持っていると感じました。人間的な魅力、いわゆる非認知スキルがあり、また、子供たちに対する深い愛情も感じます。子供たちから見ても魅力的な人材であることは間違いありません。そのような 2 人が Teach For Japan の研修も受けながら、魅力的な教員に育っていく過程というのは、戸田市の教員育成の面でも非常に参考になると考えます。
委員	報告事項⑨について、今後どのような形でフィードバックしていくのか、教育活動の中にどのように反映させていくのか、今でなくてよいので、具体的な計画があれば教えてください。
事務局	どのような指導がより効果があるのか、指導方法の改善に活かすのが一番の目的ですが、次回の教育委員会で御報告いたします。
教育長	県からの依頼で実施するわけですが、私としては大いに期待しております。例えば、どのような指導をすれば効果をあげられるということがわかれば、初任者が指導方法で困っている時に役立ちます。また、ベテラン教師にとってもプラスになり、選択と集中を行うことで負担軽減につながるのではないかと思います。
委員	報告事項⑩・⑪について、これを実際の教育現場、先生方はどのように実践しているのか具体的に教えてください。
事務局	次回教育委員会時に、実際の映像を見ていただきたいと思います。

教 育 長	報告事項⑫について、アクションプランは効果がでていますか。
事 務 局	各課との連携により、児童生徒を様々な方面から見ることができるようになってきており、かなり効果があがってきていると感じています。
教 育 長	なかなか難しいとは思いますが、このようなものもエビデンスを示せるようにしてください。
教 育 長	それでは、他に質問等が無いようですので、次に、次第の6 その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。
事 務 局	次回、教育委員会定例会の日程ですが、5月19日(木)午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。
各 委 員	了承
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。
事 務 局	特になし
教 育 長	来月の教育委員提案のテーマについて委員から何かございますか。
委 員	これまで度々、アクティブ・ラーニングなどの新しい学びについて説明いただいて、とてもよくわかるようになってきました。ただ、他の保護者の方は、今日の資料のようなものを読んでも、専門用語もあり、なかなか難しいのではないかと思います。そこで、保護者にもわかりやすくPRする方法についてどのように考えているか教えてください。
事 務 局	承知いたしました。一例として、アクティブ・ラーニングについての保護者向け資料を作成して、次回の教育委員会で御覧いただきたいと思います。

委 員	小中一貫教育について、中1ギャップや小学校での教科担任制など、戸田市として今後どのように進めていくか教えてください。
事務局	承知いたしました。
委 員	今年度、中学校3年生に英検3級受検費用を補助するとのことですが、その他、今後の英語教育についてどのように進めていくか教えてください。
事務局	承知いたしました。
教育長	それでは、「報告事項②」、「議案第16号」及び「議案第17号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に関係する職員以外は退席願います。
	【関係者以外の退席を確認後、報告事項②を報告、議案第16号及び議案第17号を議決し、閉会】